

「国民の声」を聞くことが究極の岸田文雄首相の就任後初の所信表明演説は、その言葉には程遠いものでした。「新しい時代」を明々と強調しましたが、国民の不備を招いた安倍晋三・菅義偉内閣のどこが間違っていたのか、一切触れませんでした。むしろ「新しい資本主義」を唱導するなかで「破綻した」安倍・菅政治「を、いっそう推進する姿勢を示しました。いっそうの表紙が替わっても、政治の中身は変わりません、新しい政治を実現するには政権交代が必要です。」

「安倍・菅」と繋ぐ時

安倍晋三時代の「森友学園」疑惑で公文書改ざんを強いられた自死した近畿財務局職員・赤木俊夫

主張

岸田首相所信表明

んの妻・雅子さんは、再調査を求める直轄の手紙を岸田首相に届けました。ところが所信表明演説には受け止める姿勢が全くありません。一言も触れませんでした。

「森友」問題だけでなく「桜を見る会」「前夜祭の費用や、河井克行正法相・案里元参院議員夫妻の

も沈黙です。そうした問題に背を向け、いっそう「国民の声を真摯に受け止め」とか、「信頼と共感を得られる政治」と繰り返しても、なにも響きません。

「コロナ対策では、感染爆発を招いた自公政権の対応のどこに問題があったのか踏み込みませんでし

これが「国民の声」聞く姿勢か

大規模買収事件での自民党本部からの1億5000万円もの資金提供、甘利明自民党幹事長の口利き・金銭授受など、国民が疑問に思っている多くのことだ、首相は「いよいよたまりを押し通してしま

た。自ら与党幹部として無為無策を続けたことに反省はありません。医療・検査体制の抜本的拡充や寧ろ支援助強化にも具体的な実行けを示しません。

「新しい資本主義の実現」といって、経済運営の基本に挙げたのは、安倍政権の「3本の矢」です。

政権交代で政治の刷新を

岸田政権発足後の世論調査では、安倍・菅政権の路線を「引き継がないほうがよい」が55%（朝日）、「転換すべきだ」が69.7%（共同通信）でした。

岸田首相に政権担当の資格はありません。市民と野党が力を合わせ、総選挙で政権交代を実現し、国民の声が聞く政治に切り替えることがいよいよ重要視されます。